

京都カラスマ大学のつくり方

2013年12月17日（火） 17:00-19:00

いま、日本全国で「ソーシャル系大学」が盛んに誕生しています。これらは、国立や私立大学といった学校教育法の定める大学ではない「まちの学び場」です。生涯学習が老後のセカンドライフのためのもの……だった時代はむかし、今、ソーシャル系大学を支持しているのは20代、30代の若者たち。そんなムーブメントの中、校舎を持たず、京都の街じゅうを「教室」に見立てるというスタイルで、受講料無料でこの学びの場を創出しているのが「京都カラスマ大学」です。

こういった「学びの場」を企画・運営するのもまた、同世代。これまで、オールボランティアで5年間運営している「京都カラスマ大学」のもとにスタッフとして手を挙げて集まってくる顔ぶれが、そのきっかけとして口にするキーワードは、「NPO」「ボランティア」「社会貢献」「プロボノ」「ひとの喜ぶ笑顔が見たいから」。さて、組織は「想い」だけで続いていけるのでしょうか。（ゲストより）

ゲスト 高橋 マキ 氏

文筆家／NPO 法人「京都カラスマ大学」学長

書店に並ぶあらゆる雑誌で京都特集記事の執筆、時にコーディネートやスタイリングを担当。古い町家でむかしながらの日本および京都の暮らしを实践しつつ、「まちを編集する」という観点から、まちとひとをゆるやかに安心につなぐことをライフワークとし、NPO 法人「京都カラスマ大学」学長もつとめる。著書に『ミソジの京都』『読んで歩く「とっておき」京都』など。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です！
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので) 夕ご飯を持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志 (加納 圭、水町 衣里)

共催 PESTI (=ペスティ: JST・RISTEX 科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム「STIに向けた政策形成プロセスへの関心層別関与フレーム設計」)



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/18zVrUI>